

授業概要

「児童サービス」は、図書館が、児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に〈読書への誘い〉を目的として行う様々なサービスを指します。現在多くの図書館で行われている、お話し会、ブックファースト運動、ブックトークなどがそれにあたります。この授業では、「児童サービス」について概観し、その現状についての知識を深めます。また、児童文学の歴史や昔ばなし、絵本、紙芝居の特性について講義します。

授業計画

第1回	児童サービスとは何か。
第2回	子どもと本について
第3回	児童サービスの歴史 1 海外
第4回	児童サービスの歴史 2 日本
第5回	児童サービスの現在（ブックファースト運動、ブックトーク、わらべうた等）
第6回	昔ばなし 1（子どもと昔ばなし）
第7回	昔ばなし 2（語りの特性）
第8回	昔ばなし 3（昔ばなしは残酷か）
第9回	絵本について 1（絵本の特性と読み聞かせについて）
第10回	絵本について 2（昔ばなし絵本）
第11回	紙芝居について
第12回	紙芝居の実演について
第13回	児童文学の歴史と作品鑑賞 1（お伽噺・幼年童話）
第14回	児童文学の歴史と作品鑑賞 2（童話・児童文学・ヤングアダルト）
第15回	試験
第16回	まとめ

到達目標

児童サービスについての基礎的知識の習得。

履修上の注意

地域の図書館に出向き、児童サービスの実態を調査し、レポートにまとめる課題があります。

予習復習

予習：日頃から図書館や書店の児童書コーナーへ行き、児童書について興味を持ち知識を増やすこと。
復習：講義の中で紹介された作品を講読すること。

評価方法

期末試験（65％）と平常点（35％）を総合的に評価します。
平常点は、授業への参加態度やコメントペーパーによるものです。

テキスト

適宜、プリントを配布します。